

1. 一人一台端末で、残業が劇的に削減できた
2. 情報の共有と自動同期の実現で、効率的な業務が遂行できた
3. 非接触での業務遂行でコロナ感染リスクを軽減できた

法人名 一般社団法人ストレングス

事業所名 きっずスペースきんいろほらりす（放課後等デイサービス）

課題①

パソコン入力ができない（入力できる端末がない）スタッフは、順番を待ち残業となるか、入力が苦手なスタッフは早々と退社し、スタッフ間でバランスが悪いワークフローであった。

活動記録 5名×30分×22日=55時間

残業 5名で 55時間(1人月20時間の者もいれば、5時間の者もあり、バラツキがあった)

ICT機器
導入

ノートPC
メイプル日誌

成果①

【業務の質の向上】
現場で入力も可能となり、現場での活動状況や突発的な連絡など保護者へ直接連絡ができ、活動を中断しなくても良い状態となった。

【量的な効率化】
活動記録 5名×10分×22日=18時間
残業 5名で 18時間(1人月3.6時間)
記録業務での残業がほとんどなくなった。



①業務効率化のステップ

- ①活用しているメイプル日誌の記録の仕方が、スタッフによってバラバラだったため、必要な項目を検討し、記載内容を共通化した。しかし、パソコン入力が苦手な職員もいて、返って非効率であった。
- ②タブレットでも入力することとした。また、記録と請求を連動させるソフトウェアも導入し、入力の作業量を少なくした。
- ③1カ月利用後、職員で意見交換し、「タブレットで入力でき安心した。」「入力するPCを待っていなくても隙間時間に入力できる」等の意見が上がった。

①職員の声など

【良かった点】

- 事務作業の負担が軽減し有難い。
- タブレットでも入力でき、入カスピードが大幅に改善した。
- 請求漏れが無くなった。
- 紙ベースでの出力が不要になった。

【悪かった点】

- 外ではネットワークがないため、利用できなかった。

【導入にあたり気を付けたこと】

- 導入前の作業スキームの明確化。
- 入力する職員に偏りが無いように、誰でも入力できるようにし、作業効率を図ることに重点を置いた。

1. 一人一台端末で、残業が劇的に削減できた
2. 情報の共有と自動同期の実現で、効率的な業務が遂行できた
3. 非接触での業務遂行でコロナ感染リスクを軽減できた

課題②

- ・送迎時、利用児童の変更等が発生し、連絡事項等で事務所を介さなければならず、タイムロスが発生し、非効率的な業務遂行であった。
- ・利用児童の情報共有を一度にできず（シフト勤務のため）、非効率かつ正確な情報共有ができなかった。

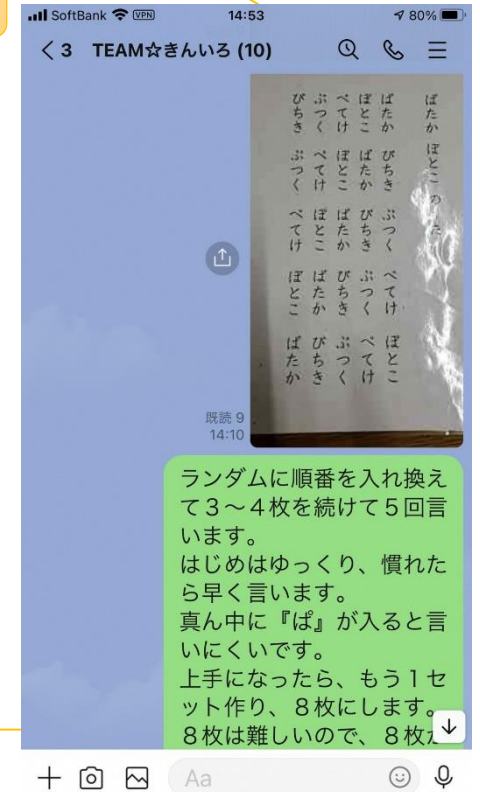
ICT機器
導入

スマートフォン

成果②

【業務の質の向上】
突発的な連絡など保護者へ直接連絡ができ、活動を中断しなくても良い状態となった。
同じ情報を提供できるので、受け取りの差がなくなった。

【量的な効率化】
全員に一度に周知できる。
視覚的に情報伝達ができるので、わかりやすい。



②業務効率化のステップ

- ①送迎時の時間間違いや連絡行き違い等の意見が出たため、職員全体にヒアリング及び問題点の洗い出しを行った。
- ②事務所を経由すること、変更時の連絡入れ忘れなどの意見があった為、一人1台スマートフォンを突ようにした。
- ③画像やチャット、位置情報などを共有でき、使い方も全員が知っているLINEアプリを使用し、グループラインでやり取りを行った。効率化が図れたが、誰が確認して誰が確認していないかがわからないため、今後は確認したらわかるやり取りをするように徹底したい。

②職員の声など

【良かった点】

- ・長期休暇中は、終日利用のためスタッフ間の打ち合わせを残業時間に行っていたが、グループウェアや一人1台端末のおかげで、わざわざ集まらなくても情報共有でき、残業せずに済むようになった。
- ・初めての送迎場所等でも、地図が送られて迷わなかった。

【悪かった点】

- ・運転中は変更があっても確認できない。
- ・支援中、スマホの置き場所に困った。

【今後の課題・その他】

- ・重要な情報管理をルールを決めて厳重に取り扱いたい。
- ・休みの時に持って帰らない職員がいるので、貸与制度を作って大切に管理したい。

③業務効率化のステップ

- ①導入前の検討状況：送迎ボードの作成に時間がかかり、作成してもまた変更が生じるなど、非効率なサイクルとなっていた。
- ②導入内容：googleslidesを使い、スタッフ間でいつでも最新の情報が確認できるようにした。
- ③導入における問題点の洗い出し・それに伴う改善など
 - ・変更時に都度連絡をしなくてもいいような仕組みはとれないか？
 - ・今の時代コロナ感染が心配なので、非接触でボードが作れないか？

③職員の声など

【良かった点】

- ・長期休暇中は、終日利用のためスタッフ間の打ち合わせが、これまで勤務時間内にできず、残業となっていたが、グループウェアや一人1台端末のおかげで、わざわざ集まらなくても情報共有でき、残業をしなくてもよくなった。
- ・いつでも最新の情報が確認でき、ミスが少なくなった。

【悪かった点】

- ・定型フォームを作るのが大変だった。
- ・配車計画を作るのが、特定のスタッフに任せきりになってしまった。

【今後の課題・その他】

- ・もっと使い勝手のいい方法はないか(電子黒板のような)、コストをかけずに考えてみたい。
- ・一人1台端末を所有したことで、予想以上に効率化が図れ、残業もほとんどなくなった。それによって、ストレスが軽減され、働きやすい環境が作れたことは、本当に良かった。ありがとうございました。